



立西巻き

尼崎市立立花西小学校
校長 笠井美香
2025. 4. 18 (金)
No. 3

[校長先生つぶやき、つぶやく (校長だより)]

がつこう

ジョン・バーニング
谷川 俊太郎 訳



大変だけれど、大切な4月

「園長先生、おはようございま〜す。」元気な声がひびきます。

「あ。まちがった。校長先生だ〜。」小さな1年生が大きなランドセルを背負って登校してきます。兄弟姉妹で、手をひいて登校してくるあたたかい姿もあります。

子ども達が登校してくるいつもの風景だけれど、毎日違う。朝、門の前であいさつをする子どもの姿で、だいたいのその子の様子がわかります。今朝は、寝坊したなあ。朝ごはん食べていないかもしれないなあ。何かあったかも。でも、おうちの方に励ましてもらってきたなあ。

紹介した詩は私が大好きな詩です。詩にあるように、学校は、学んで、食べて、遊んで、人とつながる場所。毎日毎日が新しいことの連続です。同じことは、一度たりともありません。すべてが自分の糧となる場所、学校。たった6年しか生きていない子が、たった12年しか生きていない子が一人で、この大きな学校という場所で、頑張っています。ですから、ご家庭においては、詩の「それから うちへかえるの」の家へ帰ったら、しっかりと話を聞いて、認め励ましてあげてください。そして、朝は、今日一日がすてきなものとなるよう前向きな声かけて送りだしてください。お家の方の言葉が子ども達にとって、一番の糧です。その日の力になることは間違いないです。

特に、4月はここから1年間を充実させるためには大切な月です。クラス目標や約束事の確認、学習準備。子ども達だけでなく、先生達も、連日、朝早くから遅くまで、この一年を大切にしたい思いで、授業準備をしています。子ども達も先生達も、頑張っているのだけれど、緊張がはしり、忙しさからか、時にミスもおこします。だけれど、間違いなく、子ども達も先生達も一生懸命頑張っています。ですから、やはり、失敗やよくわからないことも、子どもの話をよくよく聞いてくださり、声かけの仕方に工夫をしていただきたいです。そして、先生達とお家の方とはお会いしたこともなく、お互いよくわからずですが、だからこそ、気になることがあれば、ご遠慮なく、おたずねください。「先生も忙しいだろうから、これくらいは」と遠慮される方もあるようです。子どもの話を聞いて、察知できずであれば、お尋ねください。お家の方も学校も思いは同じ。子どものため。少しの遅れが、のちのちの大きな困りにつながることもあり得ます。令和7年度がはじまったところで、大変だけれど、大切な4月。460人の子ども達と39人の先生達のすてきな一日のため、今日も「今日」を大切にします。